

2025年度環境情報科学研究発表大会
(一社)環境情報科学センター 一般公開シンポジウム
気候変動への適応
—気候変動対策と持続可能な社会への取組—

□日 時：2025 年12 月12 日（金）15：00～17：15

注： 基調講演・特別講演はオンデマンドにより事前配信

□場 所：日大会館及びオンライン配信

日大会館： 東京都千代田区九段南4-8-24

Tel: 03-5275-8110

交通：■ JR中央線・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩2分

■ 都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線
「市ヶ谷」駅 下車 A2出口 徒歩1分

https://www.nihon-u.ac.jp/access_map/headquarters/

□主 催：一般社団法人環境情報科学センター

□共 催：環境省

□後 援（予定）：環境科学会、環境経済・政策学会、環境アセスメント学会、
環境福祉学会

□参加定員：150名（会場出席）

□参加費：無料（事前申込制）

以下いずれかの方法でお申込みください。

申込先①：<https://ws.formzu.net/dist/S730895262/>

（QRコード参照 外部サイトへ移動します）

申込先②：「環境情報科学研究発表大会参加登録システム」

https://www.ceis.or.jp/sympoinfo_2025.html

参加申し込み締切り：2025年12月5日（金）

なお、基調講演・特別講演はオンデマンド配信となりますので、事前に御覧いだいたうえで御参加ください。

□開催趣旨：

地球温暖化について、パリ協定に基づき対策の強化が求められている中で、わが国は新しい約束（NDC）を提出したところであり、第30回締約国会議 COP30（ブラジル、ベレン 11月）でも途上国への資金援助等に加え、適応に関する世界全体の目標（Global Goal on Adaptation: GGA）が、議論される予定となっています。しかし、2024年の世界平均気温は過去最高で産業革命前の水準と比べて1.55度上回り、また、日本の2025年夏の平均気温も過去最高となりました。地球温暖化の影響は顕在化して



おり、緩和策のみならず熱中症対策等の適応策が重要となっています。このため環境研究推進費等による適応についての調査、研究が進められている他、日本政府は、地球温暖化の影響を評価し、気候変動適応法に基づき気候変動適応計画を策定して対応を推進しています。さらに年内には気候変動影響評価報告書がとりまとめられ、来年には気候変動適応計画が変更される予定です。

一般社団法人環境情報科学センター（CEIS）は、2022年に「2030長期ビジョン」及び「第2次中期計画2025」を策定し、また、毎年一般公開シンポジウムを開催して、持続可能な脱炭素社会の達成に向けて学会としての重点的な課題を提示して取り組んでいます。また、2025年7月には、学会誌「環境情報科学」の特集として「気候変動適応策」を取り上げ、現状のレビューや「気候変動適応の実現に向けた社会的課題」を提示しました。

今般、CEISは環境省と共催でシンポジウム、「気候変動への適応 ―気候変動対策と持続可能な社会への取組―」（仮題）をテーマとして開催します。シンポジウムでは、基調講演として、「気候変動影響予測・適応評価の研究と適応策の推進」（仮題）をテーマに、将来の気候変動のシナリオやそれによる農業、水環境等への予測、経済や地域への影響、さらに適応のシナリオや適応策による効果の評価について紹介いただき、今後の気候変動適応策の課題や方向について論じていただきます。また特別講演では、環境省から「我が国における気候変動適応の取組と今後の課題」（仮題）として、気候変動適応計画の特徴・ポイントや課題等について、気候変動枠組み条約第30回締約国会議（COP30）の結果や中央環境審議会での気候変動影響評価報告書の作成状況等も踏まえて紹介します。

これを受けてパネルディスカッションでは、まず適応の前提となる気候変動の今後の予測と影響を紹介いただきます。次に特に影響が注目される生物多様性・生態系、都市環境及び健康の3分野における気候変動の影響予測やそれらへの適応策についてパネリストからの発表の後、行政の立場から環境省のディスカッサントも参加して、影響の予測、評価や適応についての課題、また、対応策とその対策推進のための調査・研究等について議論します。

これらを通じて、気候変動とその緩和対策等の見通しを踏まえた適応対策について、広く普及啓発や実践の促進を図るとともに、主として環境情報科学の観点から今後の調査・研究や対策の推進についての課題や方向を示唆することを目指します。また、その成果をCEISの中期計画及び長期ビジョンの効果的な実施に向けて活用します。

□プログラム：

1. 開会挨拶

大塚直 環境情報科学センター理事長、早稲田大学法学学術院教授

2. 基調講演（20分）

（ オンディマンドで事前公開）

気候変動影響予測・適応評価の研究と適応策の推進（仮題）

講演者：三村信男 茨城大学 地球・地域環境共創機構 特命教授

3. 特別講演（20分） （オンデマンドで事前公開）

我が国における気候変動適応の取組と今後の課題

講演者：関谷 毅史環境省地球環境局長

4. パネルディスカッション（1時間55分） （対面及びオンライン配信）

パネリスト：

モデレーター：平野 勇二郎 国立環境研究所社会システム領域システムイノベーション研究室 上級主幹研究員（環境情報科学センター
審議員、企画委員会委員）

パネリスト：仲江川 敏之 気象研究所気候・環境研究部部長

山野 博哉 国立環境研究所生物多様性領域上級主席研員、
東京大学大学院理学系研究科教授

村山 顕人 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授

岡 和孝 国立環境研究所気候変動適応センター気候変動影響
観測研究室長

ディスカッサント：羽井佐 幸宏 環境省地球環境局総務課気候変動科学・適応
室長

5. 閉会挨拶

大塚 直 環境情報科学センター理事長、早稲田大学法学学術院教授

（変更となる可能性があります）

（以上 敬称略）

□問合せ先：環境情報科学研究発表大会事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7

E-mail：online@ceis.or.jp

https://www.ceis.or.jp/sympoinfo_2025.html